

事業名：「復興知」の総合化による食・農・ふくしま未来学の展開

福島大学 連携市町村：南相馬市、川内村、大熊町、飯舘村  
 現地拠点：飯舘村（設置予定）

事業のポイント

浜通りおよび福島県地域においてイノベーションを生み出す高度で加速度的な復興に寄与する人材の育成をめざし、「復興知」事業、「地（知）の拠点整備事業」（文部科学省COC事業）、地域実践特修プログラムを発展させて以下の取り組みを展開する。

1. 食・農に関する国内外の復興知を集積・活用した専門教育と研究
2. 全学を貫く地域実践特修プログラム「ふくしま未来学」の高度化



授業「むらの大学」（川内村・南相馬市）



人材育成目標

1. 復興とイノベーションの中核を担う福島大学各学類の学生・院生の実践的・学際的人材【専門的実践解決力、学際的な理解・解決力、地域貢献力】
2. 福島大学が集積した「復興知」、現場で得られた知見の共有を加速度的に定着させ、福島の復興に携わる国内・外の人材【専門的実践解決力、学際的な理解・解決力、地域貢献力】
3. 浜通り地域に寄り添い、復興の状況を理解し、次代を担う復興に寄与する国内・外の人材【協働・コミュニケーション力、地域貢献力、グローバル力】



「『復興知』エクステンション」展開（写真は中学校での「復興知」授業）

2021年度の活動内容

1. 「復興知」成果の社会横断的総合化・実装展開 「復興知」成果に「横ぐし」をさし、複数の専門分野の知見を総合して、土壌改良手法の高効率化とモデル整備、低投入・持続的生産体系に適した作物選抜と生産体系の構築を展開する。また、「もうかる農業」のため農産物の流通・マーケット部門で不可欠なシステム検証と展開を試みる。
2. 「福島大学『復興知』エクステンション」展開 「復興知」成果に加え小中高校の基礎分野を含めた「出前授業・講演」を実施し、復興に資する知見・知識を展開し人材育成をはかる。事後の利活用ができるようアーカイブ化も進める。
3. 「ふくしま未来学」の高度化 「フィールドワーク・サービスラーニング科目『むらの大学』」、自主学修プログラム、「スタディツアー『みらいバス』」、学類を超えたプロジェクト学修、「復興知」の学内共有の高度化ならびにデータベース化と国内外への発信、「福島型サービス・ラーニング」の開発と発信、浜通りの高校との連携、を展開する。
4. 「復興支援研究」と食農教育・人材育成展開 除染水田産米の貯蔵物質蓄積構造を年次間・環境変動や安全・安心を科学的に明示して、栽培制御技術を農業従事者に還元し、地域・児童・生徒等への教授する。除染水田の地力のため飼料用米等を用いた耕畜連携展開を飯舘村で実施し成果を展開する。



復興支援研究（写真は除染水田産米の品質の電子顕微鏡での評価）

取り組みによって得られる成果

1. 浜通りおよび福島県の復興に寄与する人材育成プログラムの展開と人材の継続輩出
2. 復興を支援する研究展開と地域・実践的還元